



Rotary

第2730地区

宮崎中央ロータリークラブ

ROTARY CLUB of MIYAZAKI-CHUO



週報

今月のテーマ ロータリー財団月間

第1409回例会

2015年11月19日 Vol.30/No.20

■本日の例会

第1410回 平成27年11月26日(木)

- 会長・幹事・各委員会報告
- 会員卓話…川越孝幸 会員
- ゲスト卓話…柏田ひろみ 様
「セルフケアとは」

■前回の例会

第1409回 平成27年11月19日(木)

- 会長・幹事・各委員会報告
- 会員卓話…樋口義春 会員
坂本弘史 会員

【出席率状況報告】

- ・会員数 53名
- ・出席者 31名
- ・欠席者 21名
- ・出席率 59.62%
- ・11/19修正出席率 82.00%

■会長挨拶

会長 藤原昭公



皆さん、こんにちは。

妊娠を理由に降格されたのは男女雇用機会均等法違反に当たるとして、広島市の病院に勤務していた理学療法士の女性が慰謝料を求めた差し戻し控訴審判決が17日に広島高裁でありました。裁判所は降格を違法と認め、被告の病院に対し、175万円の支払いを命じました。

病院に勤務していた女性は理学療法士として2004年に副主任となりましたが、第2子を妊娠した08年、負担の軽い業務への転換を希望したところ、副主任の役職を外されました。第2子を出産、復帰後、女性より職歴が6年も短い職員が副主任に任ぜられていたことを理由に女性が再び副主任に任ぜられることはありませんでした。一、二審では原告側が敗訴しましたが最高裁は昨年10月、「妊娠や出産を理由とした降格は、自由な意思に基づく明確な同意か業務上必要な特別な事情が無ければ違法」との初めての判断を示し、女性は降格に同意しておらず特段の事情についても審理が尽くされていないとして二審判決を破棄、審理を高裁に差し戻しました。高裁は女性の同意は自由意思に基づくものでないと指摘し、「女性を再任用すると指揮命令が混乱する」という病院側の主張も具体性に欠けるとして退けました。また、業務自体の負担の異動があきらかでない。副主任を免ぜられた結果、負担が軽減されたかどうか有利な内容や程度が不明確だ。との指摘もありました。さらに病院が軽易とした病院内チームから元の訪問看護チームに復帰しても6年後輩の職員が副主任となっておりこの女性は再び副主任の地位に復帰しておらず、本件措置による降格は軽易な業務への転換期間中の一時的措置ではないとし、原職

または原職相当職に復職させなければ不利益取り扱いがあったとするのが相当としています。事業所にとって厳しい判断となりましたが、最高裁の判断が判例として定着し、今後、類似の事件はこうした判決になっていくでしょう。中小企業がこのような問題にどう対応していくか大変悩ましいところです。

マタハラは男性だけではなく女性からも声が聞こえてきます。「職場に迷惑をかけている。自分の仕事にしわ寄せがくる。」等、よく耳にします。しかし、育児休業だけではありません。今後、介護休業も増加していきます。団塊の世代が後期高齢者となる10年後大介護時代が到来します。当然在宅介護が主流となり、従業員は介護休業を取得せざる負えなくなります。今は妊娠や出産に関係ない人でも今後は親の介護や自分自身の病気で通常の勤務ができなくなることもあります。様々な事情により職場を長期的に離れることを余儀なくされる人が増えることは容易に想像できます。これは働く人すべての問題です。少子高齢化の克服が最大の課題である現在、誰もが安心して働ける職場環境を築きあげることは私たち事業者にとってというよりロータリアンにとって大切な職業奉仕の実践となるのではないのでしょうか。

■幹事報告

幹事 田中 寿



①延岡東ロータリークラブ

創立50周年の案内が来ております。

平成28年2月22日 詳細は事務局に問い合わせ下さい。

②西都ロータリーからIM参加の御礼が来ております。

ご参加ありがとうございました。

■フェロシップ委員会 委員長 松田くるみ



12月17日の年末家族懇親会へのご参加をお願いいたします。ご家族揃ってお出でいただければ、とても嬉しいです。

会を盛り上げるためのアイデアがございましたら頂戴したいと思います。

皆さまのご協力をお願いいたします。

■委嘱状伝達式 田島直也 会員

R I 第2730地区より公益財団法人ロータリー米山記念奨学生選考の面接官に委嘱されました。



【米山奨学金授与式】

バトムンク

バータルスレン君

会員卓話

橋口義春 会員

「奇跡の復活を遂げた高松丸亀商店街」



私が勤務するMRTmiccは宮崎市中心市街地にありますが御存じの通り全国の地方都市と同様バブル期を境に中心市街地の衰退が始まり特に一ツ葉のイオンがopenしてからは一段と寂れてきました。現在、全国に1万8,000ヵ所の商店街がありそのうち4割がシャッター商店街で更に10%以上が空き店舗となっています。今日は、全国から年間2万人が視察に訪れる「奇跡の復活」を遂げた四国の香川県高松市丸亀商店街の取組を紹介します。

高松市は400年の歴史を持つ城下町で人口は宮崎市よりも2万人多い42万人ですが四国の玄関口とも呼ばれ宮崎より活気があります。この丸亀商店街も郊外型団地の拡大や郊外型SCの進出で徐々に衰退が始まり1,000人以上いた住民がたったの75人まで激減してしまいました。この壊滅的な状況から復興を目指した第一人者が現在丸亀商店街振興会理事長の古川康造氏58才です。彼が大学を卒業するころ出身地である丸亀商店街の衰退が目立つようになり家業の電気店の継続も難しい状態で、そこから古川氏の商店街復興を目指す取組

が始まります。まずは車社会に対応して駐車場を設置する事から始まり根本的な解決は住民そのものを増やす以外に再生はない事に気づきます。

この30年近くの間古川理事長のリーダーシップのもと商店街は大きく生まれ変わりました。ビルとビルは2階3階も公道を跨いで回廊が設けられ人々の回遊性が高くビルの上層階は住民を増やす為のマンションになっていて既に500棟以上を分譲し完成前に全て完売しています。道路はベンチや植樹が施されるまで公園の様で無料の立体駐車場が多数設けられ放置自転車は見当たりません。市街地が充実した事で日常生活に車が必要でなく特に若い夫婦のマンション購入が増えたそうです。またファッション街や生鮮食料街、健康と医療ゾーンなど街区ごとに特徴を持たせた街作りが進められておりアーケードの総延長は既に2.7kmに達しています。商店街は生活の場であるという概念から医療体制は商店街の町医者と大学病院、県病院との連携で安心な体制が築かれています。

現在日本は世界で最も早く少子高齢化社会を迎えており自治体の存続を含めて課題が山積しています。高度経済成長と共に郊外へ延びた住宅団地に住む住民の一人あたりの財政負担は月5,700円で中心市街地は850円との試算も出ています。我が宮崎の将来を俯瞰するとき中心市街地復活は宮崎市全体の課題として取組む時代を迎えていると思います。

ハッピーボックス (敬称略)



●江口健一…誕生祝いただきありがとうございます。とてもステキなコップ大事に使わせていただきます。

出席委員会報告

井上真由美 会員

◆11/19メイクアップ者名 (敬称略)

香川美穂子、新地康宏、川崎新一、西橋龍博、秦喜八郎、山田知樹

◆ピジター



金丸憲史 様 (宮崎西RC)

発行/ 宮崎中央ロータリークラブ

●事務局 〒880-0804 宮崎市富田町10-25 富田町ビル TEL.0985-22-6767 FAX.0985-22-0288
●例会場 〒880-8545 宮崎市山崎町浜山 シーガイアコンベンションセンター TEL.0985-21-1155(毎週木曜 12:30~13:30)
会長/藤原昭公 副会長/香川美穂子 幹事/田中 寿
クラブ会報委員会/委員長:新地康宏 副委員長:江口健一 委員:鈴木克信、長友久人、小西明美、川崎幸幸